入院診療計画書

甲状腺の手術を受けられる　（　　）様へ

病名　　年齢　　生年月日：　　薬　剤　師

主治医　　受持看護師　　病棟　　管理栄養士

2　部　印　刷
1 部 : 患 者 フ ァ イ ル
1　部　:　患　者　様　用

手術日時　平成　年　月　日　AM ・ PM　時　分

病日	手術前日	手術当日		術後1日目	2日目	3日目	4～6日目	術後7日目
		（手術前）	（手術後）					
日付	／　（　）	／　（　）		／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）～／　（　）	／　（　）
目標	手術の説明が分かる 安心して手術を受けることができる		痛い時や調子の悪い時に訴えることができる→	しっかりと身体を動かすことができる→			退院に向けて準備ができている→	
食事	原則として21時以降は食べるこができません （水分は麻酔科医から説明があります）	飲んだり食べたりできません （水分は麻酔科医から説明があります） 絶飲食		朝から飲水できます 昼から食事（お粥）を開始します	食事が始まります ※食事療法が必要な方は、病状にあわせた食事がです			
安静度	自由です		ベッド上安静ですが寝返りは可能です	自力歩行できます	自由です 術後、積極的に身体を動かし歩行することは創部の治療にとって効果的です がんばって身体を動かしましょう			
清潔	術前処置が終了後に入浴することができます	義歯・指輪・ヘアピンははずして下さい		看護師が毎日体を拭きにまいります		下半身はシャワー浴できます 看護師が毎日体を拭きにまいります		抜糸後入浴できます
排泄	21時に下剤を飲んでいただきます	排便がなければ6時に浣腸をします 手術室で尿の管を入れます		尿の管を抜きます 歩いてトイレまで行くことができます	制限はありません			
検査	入院日までに手術に必要なX線検査や血液検査があります			血液検査と胸部X線撮影があります	必要時、血液検査やX線検査があります			
治療	※抗凝固剤（ﾊﾟﾅﾙｼﾞﾝ・ﾊﾞﾌｧﾘﾝ・ﾊﾞｲｱｽﾋﾟﾘﾝ・ﾜｰﾌｧﾘﾝ・ﾌﾟﾗﾋﾞｯｸｽ・ﾌﾟﾚﾀｰﾙなど）を内服している方は中止して下さい				内服薬については、主治医の指示により再開するかどうか決めます			
処置	男性の場合は髭剃りをしてください 必要物品 ﾊﾞｽﾀｵﾙ　1枚 ｱﾃﾝﾄﾀｲﾌﾟｵﾑﾂ　1枚	朝、手術着に着替えて点滴を始めます 医師からの指示がある方は弾性ストッキングをはきます	点滴・抗生剤→ 創部の状態の観察を行います 酸素吸入を行います 必要時SBチューブという管が1～2本入ります	点滴はタ方に終了します 医師、看護師が創部の状態の観察に伺います 手術の際に創部に管を入れている場合は、排液が少なくなれば抜去します（3～7日目） 尿の管を抜いた後、排尿状態の確認をさせていただきます				縫合糸がある方は創部保護剤をはずして抜糸します 形成テープを貼付します （ただし、術後7日目以前に退院される場合は、退院後外来受診日に抜糸します）
注意事項その他	主治医・麻酔科医・看護師から説明があります 同意書は手術当日までに詰所にお渡しください 抗生剤にアレルギー歴のある場合は医師または看護師にお知らせ下さい	手術中、家族の方は病室またはデイルームでお待ち下さい	手術後は看護師が定期的に状態の観察に伺います 主治医から術後説明があります	傷の痛みがある時は、遠慮なく看護師に申し出てください 必要時、痛み止めを使います 術後の肺合併症・腸閉塞の予防のためにも、術後積極的に身体を動かし歩行することがよいとされています がんばって身体を動かしましょう 留意点　術後1ヶ月は首を伸展してはいけないため、美容院での洗髪は控えてください		手術結果を説明します 退院日を決定します 外来受診日を決定します		退院できます 退院後の注意点について説明します

※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることもありますのでご了承くた※　特別な栄養管理の必要性　□ 有　□ 無

※ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

◇総合的な機能評価◇　□ 評価対象外

・ 日常生活動作	□ 問題なし	□ 要経過観察
・ 認知機能	□ 問題なし	□ 要経過観察
・ 意欲	□ 問題なし	□ 要経過観察

患者　又は　親権者・親族等サイン　　（続柄　　）